

P2Gシステムによるグリーン水素の利用に関する基本合意書の締結について

2022年4月14日
山 梨 県
株 式 会 社 キ ッ ツ

山梨県（県庁：山梨県甲府市、知事：長崎 幸太郎）と、株式会社キッツ（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：河野 誠、以下「キッツ」という。）は、米倉山電力貯蔵技術研究サイト（甲府市）のP2Gシステムで製造したグリーン水素を、キッツ長坂工場水素ステーション（北杜市）において、化石燃料由来の水素に代えて利用することにより、自立分散型エネルギー社会のエネルギー社会の構築に、先駆けて取り組むことについて合意しました。

P2Gシステムは、再生可能エネルギー等由来の電力を活用し、水を電気分解し水素を製造する技術であり、再生可能エネルギーの導入拡大と温室効果ガスの削減において世界的に期待されています。山梨県では、NEDO（※）の委託事業として、民間企業と共同で開発を行い、2021年6月から、米倉山に建設したP2Gシステムを稼働し、ここで製造したグリーン水素を県内で利用する社会実証も行っています。

今年度から新たに、山梨県が米倉山のP2Gシステムで製造したグリーン水素（年間7,200Nm³（予定））を、キッツ長坂工場へ輸送、同工場内の水素ステーションへ供給し、キッツが場内で使用する燃料電池フォークリフト等の燃料として利用する社会実証を開始します。

山梨県及びキッツは、相互に連携し、本県の恵まれた自然環境で生み出された電力と、先端技術を利用したP2Gシステムで製造した、米倉山産グリーン水素の普及と利用拡大を図ることにより、CO₂フリー水素のサプライチェーンの構築を更に進め、2050年までに温暖化ガスを実質ゼロにする一ポニューラル社会の実現に向け、貢献して参ります。

（※）国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

<本発表内容に関するお問い合わせ先>

山梨県	企業局電気課新エネルギーシステム推進室	TEL：055-234-5268（直通）
キッツ	水素事業推進部	TEL：043-299-1765（直通）